

2003年5月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号

プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

平成十四年度

第二回総会 (通常)

黒川会長四選 監事には樋口忠彦先生・榎野明弘先生

H15.3.25



北区民センターに於いて、定刻の午後七時に藤田議長が開会宣言し、大塚常務理事により点呼が行われ、出席者三十八名、書面表決者数六十九名、委任状提出者二十九名にて総会の成立が報告された。

次いで橋本副会長開会のことばがあり、現執行部の最後の総会に出席の会員へ感謝し、上程された議案について慎重審議の上、可決承認を願うと述べた。議事録署名人には、四班の高麗会員・六班の渡辺会員が指

名された。

〈黒川会長挨拶要旨〉

私ども新執行部も早二年の任期が過ぎようとしているが、会員の先生方の御協力により、大過なく過ごさせて頂いたことに感謝し、次年度の事業計画並びに予算案等、三議案のスムーズな承認を願い、また逼迫する会計問題について協議願いたいと述べた。

〈委員会報告〉

・選挙管理委員会報告

(奥村委員長)

平成十四年度十二月四日

に委員会を開催し、平成十五年度十六年度を任期とする会長、監事選挙告知内容を検討し、平成十五年三月三日に選挙告知を行った。

・代議員会報告

日歯代議員報告を緒方代議員に代わって大塚常務理事が第四百四十七回日歯代議員が報告書の代読を行い、府歯代議員会報告を石崎代議員が行った。詳細は日歯広報並びに府歯雑誌に掲載。

〈平成十五・十六年度会長・監事の選出〉

奥村選挙管理委員長より選挙告知の結果が発表された。会長選挙には黒川森夫会員の一名が立候補し、また、監事選挙には樋口忠彦会員、榎野明弘会員の二名の立候補があり、本会選挙規定により、無投票当選となることが宣言された。

〈黒川次期会長挨拶〉

「伝統ある大阪北区歯科医師会の会長に四度ご選出頂き厚くお礼申し上げます。あと一週間任期満了まで熱

意をもって一生懸命頑張りたいので、更なる先生方のお力添えをお願いしたい。」

続いて次期監事の樋口、榎野両先生の挨拶があり、お礼と抱負を述べられた。

〈協議〉

東郷専務理事から『会計問題について』の提案理由の説明を以下の通り行った。

「逼迫する一般会計の現状を考えると、会費の値上げ、終身会員の取り扱い、入会協力金の流用などの打開策案が考えられるが、皆様のご意見を頂戴したい」

それに対し、会員から「会費値上げの値上げ額の分析、終身会員のうち自院で診療を続ける会員から徴収するなどで対応してはどうか。また、入会協力金は慎重に検討されたらどうか」

「大阪の表玄関の北区で九百万の予算では寂しい。未入会者を入会させたり、年会費を上げるなどで対応すべきだ。」

(二面につづく)

報告事項

平成十四年度会務中間報告 (東郷専務理事)
平成十四年度福祉共催制度会務中間報告 (田中理事)
平成十四年度会計中間報告 (大浦理事)
平成十四年度福祉共済制度会計中間報告 (田中理事)

議事

第一号議案 平成十五年事業計画 (東郷専務理事)
第二号議案 平成十五年一般会計収支予算 (大浦理事)
第三号議案 平成十五年特別会計収支予算 (大浦理事)
以上三議案は会員に送付された資料通り可決承認された。

パノラマ

平成十五年四月一日より第四次黒川執行部が始動した。「和以貴為」(諺語)を、常に第一に挙げ会務を執行してきた。

新潟大学大学院医歯学総合研究科の安原教授は、『未来免疫学』で、「顆粒球人間」と、「リンパ球人間」の二つのタイプに分類している。氏の著書によれば、「顆粒球タイプ」は、男性的(?)、痩せ型、筋肉質、交感神経優位、脈速い、行動的性格で概して攻撃的、意志が強く集中力が高いが、怒りっぽい。「リンパ球タイプ」は、体型はふっくら型でゆったりしていて、感受性が強く、行動に瞬発力はないが、持続性があると、「顆粒球タイプ」と相反しているという。高気圧が近づけば、「顆粒球」が増加し低気圧になれば、「リンパ球」が増えるという。自然界に生きる人間のサガである。これは飽までも一つのタイプであり、精神、環境など周囲の状況によりどちらかへとたよるといふ。いつも、会員の立場を視野の中心に置き、北歯の為に会務を行う黒川会長の人間的パランスの妙に期待を。

第4次黒川執行部発足

四たび大阪北区歯科医師会会長に就任して

H15
4.1



会長 黒川 森夫

このたび去る三月二十五日開催の平成十四年度第二回総会において、会員の皆様方の温かいご理解により不肖私を大阪北区歯科医師会会長に四たび選出していただき、誠にありがとうございました。改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

私はこの六年間、会員の方々の深いご理解と絶大なご協力を頂戴しながら、当会の伝統である「和を以て尊しと為す」の精神を旗印に執行部「丸」となつて会員の方々とサイドに立脚した会務運営を心掛けて参りましたが、お陰をもちまして諸事業大禍なく遂行させていただきました。これもひとえに会員の方々のお力添えの賜物と心から感謝致しております。

さて、このたび新執行部発足にあたり前年度と同様の次のようなスローガンを掲げさせていただきます。

一、執行部「丸」となつた会員の方々のための円滑な会務運営
 一、明るく、活気ある歯科医師会の推進
 一、会内融和
 一、伝統の継承
 一、会外との緊密な連携

以上五項目を常に念頭に置き、過去六年間の貴重な経験を生かし、社団法人大阪北区歯科医師会発展のために更なる情熱をもって全力投球致す覚悟であります。

医療界をとり巻く環境は益々厳しく、国の経済不況、政局の混乱が続くなか、いよいよ四月から被保険者本人の三割負担の導入が実施され、医療制度改革の名のもとに医療費抑制政策が着々と実施されつつある医療界の今後のゆくえが大変懸念されるところであります。こうした時期こそ私共は一致団結し、足元を見つめ、協力し合うことが必要であり、そしてそこから生まれた知恵とエネルギーを結集して、時代に即した発想の転換をはかると共に、飽までも地域歯科医療推進のため

に最大限の努力を傾注すべきであると認識しております。

大変微力でございますが、この二年間、意欲と情熱を燃やし、新執行部の方々と共に心新たに一生懸命がんばりたいと考えております。どうぞ旧に倍するご指導ご鞭撻とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



副会長
中谷 勝



副会長
橋本 収



副会長
大西 馨



理事(会計)
大浦 寿哉



常務理事(医療管理)
奥野 夏樹



常務理事(医療保険)
森田 耕造



常務理事(総務)
大塚 俊裕



常務理事(会計)
安田 忠敬



専務理事
東郷 達夫



監事
樋口 忠彦



理事(広報)
守下 雅美



理事(医療管理)
中川 晴彦



理事(地域医療)
谷口 浩康



理事(地域医療)
木下 秀人



理事(学術)
宮崎 哲

(一面よりつづく)

などの意見が述べられた。これに対して黒川会長は「府歯でも会費の値上げをしないで出務費を削減するなどで対応している。会費の値上げや終身会員からの会費徴収は出来るだけ避けたい。入会協力金に関する扱いについては、やむを得ない場合は今後検討していきたい。今後は只今の会員の方々の貴重なご意見をもとに新執行部において更に検討していくつもりである。」と答えた。

次いで澤会員より「第三次黒川執行部、監事、議長、副議長に対し感謝決議を提案し、その取り扱い、時期、方法等については、次期執行部に一任ということで、取り計らってもらいたい。」との発言があり可決した。

最後に、中谷副会長が閉会のこととお礼を述べ、藤田議長の閉会宣言で総会を終えた。

引き続き大阪府歯科医師会、国保組合支部総会と同歯科医師連盟北区支部総会が行われ、安田友一、国保支部長と水沼連盟支部長の両名がそれぞれ留任と決定した。

今期執行部には財政問題など宿題も抱えております。会員先生方のご指導、ご協力のもと円滑な会務運営に務めてまいります。(大塚記)

再任・新任(理事・監事)のご挨拶

常務理事(総務)
高麗 誠紀

この度、第四期黒川執行部の一員として、黒川会長より御指名を頂戴し、常務理事として総務を担当させて頂く事となりました。前期執行部の際には閣外より、当会の法人設立二十周年記念事業や健保法改悪阻止の街頭署名運動では微力ながら協力させて頂きました。

理事(福祉Ⅰ)
奥村 豪

この度福祉Ⅰ部担当を指名いただきました。今まで医療保険部員として4年間カルテ記載・請求から保険制度に至るまで多岐にわたり勉強させて頂きました。小生にとつて福祉部は初めての分野にて至らぬ点多々生ずるかと思いますが、福祉Ⅱ部の野口先生はじめ部員の先生方と福祉部会の企画・運営に励んでまいりますので、

何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

理事(福祉Ⅱ)
野口 秀夫

北区歯科医師会入会以来、お世話になるばかりで二十一年が過ぎ、またここ数年は福祉、広報に席を置かせて頂いて、執行部の皆様のご尽力されている様子を拝見してまいりました。よもや私にそのような重責がまわってくることはあるまいとタカをくくっておりましたので、大変戸惑っております。黒川会長はじめ諸先生方のご指導を仰ぎながら、無事お役目が果たせるよう努力してまいりますので、会員の先生方よろしくお願ひ申し上げます。

理事(庶務)
三輪 佳子

父親のあとを継ぎ、今年で早くも7年を迎えること

ができました。これも一重に諸先生方のおかげと感謝しております。

さて、この度庶務というお仕事をいただきました。まだまだ若輩で不調法者ではございますが諸先生方のご指導のもと北区歯科医師会の会務運営に少しでも役立てるよう尽力いたすつもりですのでどうぞよろしくお願いいたします。

監事
榎野 明弘

我々を取り巻く環境の悪化は目を覆うものがあります。その渦中に浅学非才な不肖私が監事の大役を仰せつかり身の引き締る思いで一杯です。

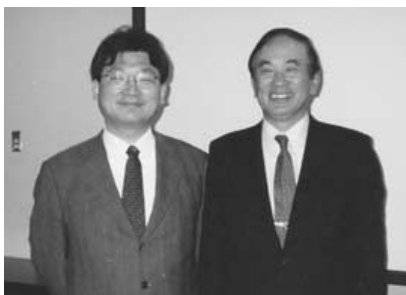
良識ある支部運営に尚一層の力を発揮できる環境作りのため微力ではありますが誠心誠意の努力を傾注したいと願っております。先生方のお助け無くしてはこの大役を成就することは大変難しいものと思われまます。ご叱責ご指導のほどをお願い申し上げます。

学術講演会

H15
3.11

三月十一日(火) 北区民ホールに於いて英保武志北歯会員による学術講演会が開催されました。出席者は二十三名でした。

以下は講演の事後抄録です。



この様なことから、歯科医として臨床に漢方薬の導入を考えた時、本来の漢方的分析診断の方法を理解しておく必要があります。今回は、オリジナル問診票と舌を見て診断する舌診とを組み合わせて能率良く漢方的体質診断を行う方法で参加の先生自身の漢方体質分析を行い、代表的な漢方薬6種類を実際に試飲して頂き漢方薬の味、香り、効果などを体験していただきました。

現在、日常臨床でよく使用されている葛根湯(かっこんとう)や小柴胡湯(しょうさいことう)は紀元200年頃の漢方薬の本(傷寒論)にすでに記されております。その時代には現在のような検査方法も無く、人間の五感のすべてを使って情報を集め分析を行い漢方薬を決定しておりました。それが近代になり、日本の医学が西洋医学中心となり、西洋医学的病名診断に對し漢方薬を選ぶようになってしまいました。(例えば、



鹿野 学

新入会員

(大歯大・平成九年卒)



(診) 北区天満一丁目七九
電 六三五一五三六六
F 六三五一五八九六
(自) 阿倍野区天王寺町北
三一二一三九〇一
電 六七四一七四七

班会報告

〔1班〕日時 3月14日(金)

午後7時

場所 アンブラッセ

来賓 黒川会長

内容 班長交代

守下雅美→西奥和雄

〔12班〕日時 3月27日(木)

午後7時

場所 アンブラッセ

来賓 黒川会長

内容 班長交代

田中康隆→國田浩之

〔5班〕班長交代

奥村 豪→岡田修二

〔7班〕班長交代

高畑栄夫→辻井 隆

〔16班〕班長交代

田中 享→西本雅英

みおつくしの会

H15
3.29



温かく、花だよりも聴かれる3月29日(土)、恒例のみおつくしの会がリーガロイヤルホテルで会員13名、役員、部員5名、総勢18名の参加で盛大に開催されました。今回は、いつも快活な佛願先生の退会、美声を誇る山田先生のご欠席で少し寂しい反面、柴田、能美、西川、三先生が初参加でフレッシュな雰囲気の中、なか田中理事が司会進行、まず黒川会長から日頃のご指導、ご協力へのお礼の挨拶があった後各先生から含蓄の深いお話があり、場は一気に盛り上がりました。中でも安田良三先生から支部の財政難について各先生からご意見を伺う一幕があり、会を常に温かく見守っていただいている諸先輩のお気持ちに改めて知る思いがしました。



ご出席は、高垣雄二郎、安田良三、安田清子、青山敏男、大内弘、澤英一、柴田昌治、前田勝、中西國夫、日笠澄子、能美昭夫、西川亨、阪本義樹各先生でした。(福祉Ⅱ)



麻雀同好会

H15
2.28

平成15年2月28日金曜日
大阪駅前第4ビル1階「寿」にて、平成14年度第1回北区北歯科医師会麻雀大会が行われた。今回初参加の吉川闊先生を交じえ、計8名で4時間半の熱戦が繰り広げられた。結果は以下の通り。敬称は略させて頂きます。(木下記)

【成績】

優勝	黒川森夫	+61
2位	中村敬三	+57
3位	向井秀郁	+12
4位	清原秀三	+7
5位	多田義隆	-11
6位	安田忠敬	-14
7位	吉川 闊	-32
8位	木下秀人	-80

(敬称略)

編集後記

『ほくし』第百六十二号の発行ができました。第四次黒川執行部の船出です。日歯・府歯の出馬要請を振り切つての会務専心の姿勢です。英国のバーナード・シヨウが人生で最も影響を受けた本は、「銀行の預金通帳」と答えたという逸話がある。北歯も色々と知恵を出し、会務に障害なく執行される。ぜひご協力を願う。